

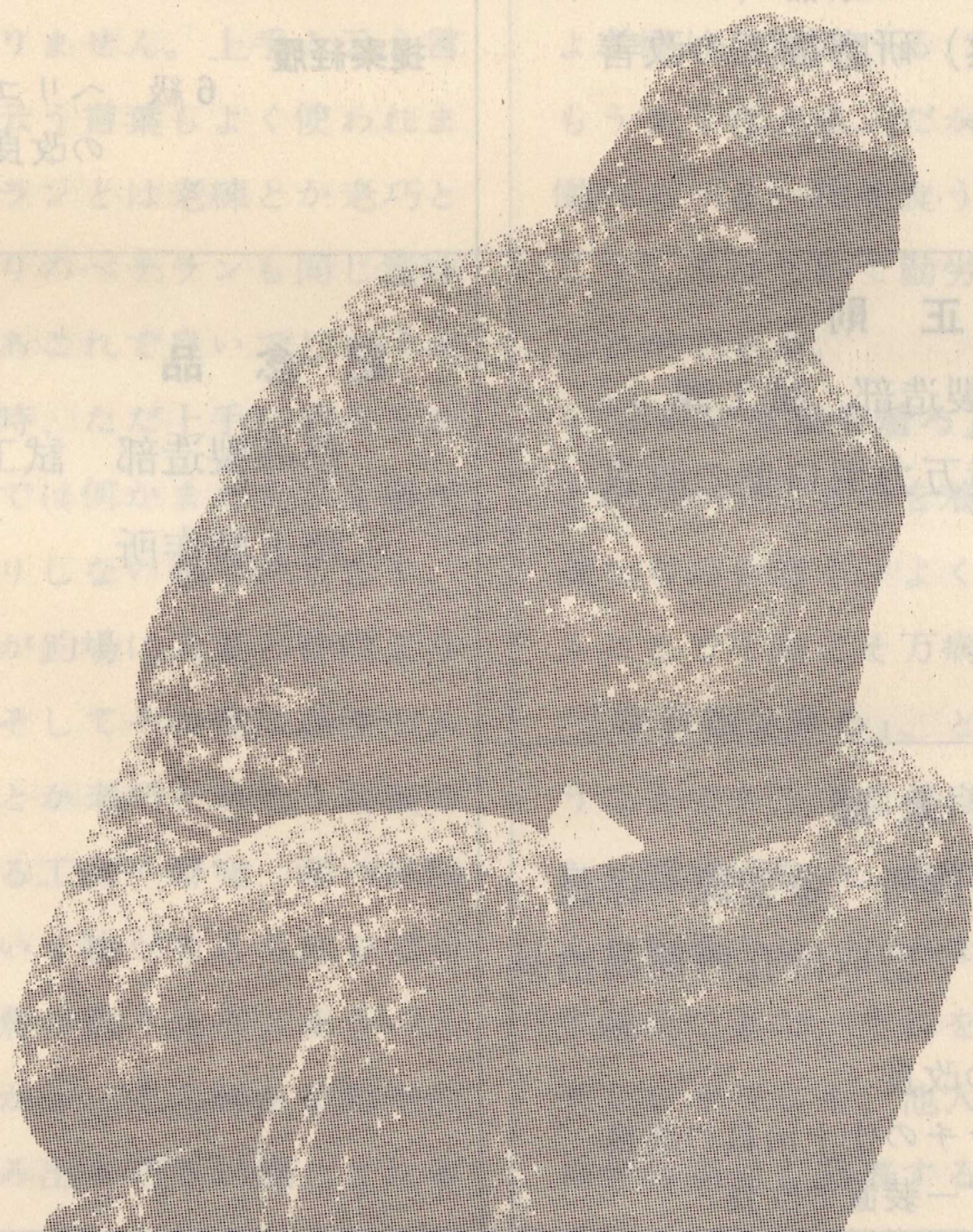


IDEA

1968. 8.

20号

提案制度運営委員会 • 発行責任 担当 運営委員



今期のテーマ



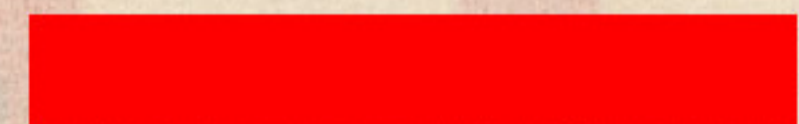

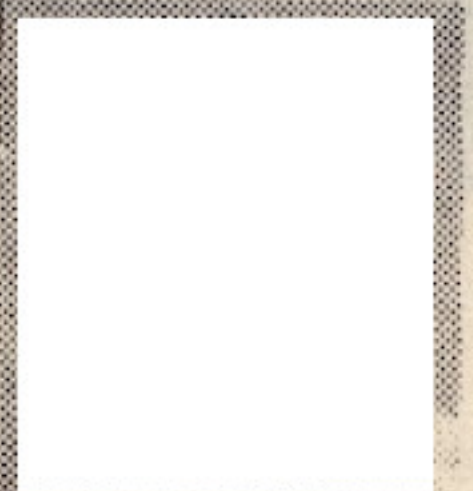
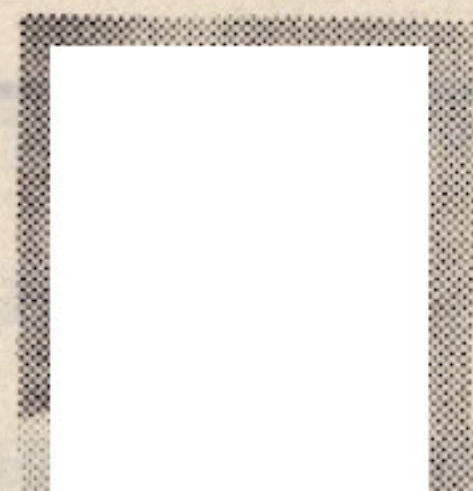

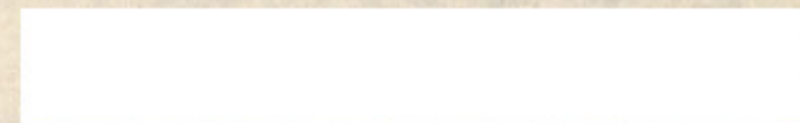





能率向上

- もっと簡単な方法はないだろうか
- もっと数多く楽に処理する方法はないか
- 時間を短かくするにはどうしたらよいか

ペトリカメラ株式会社

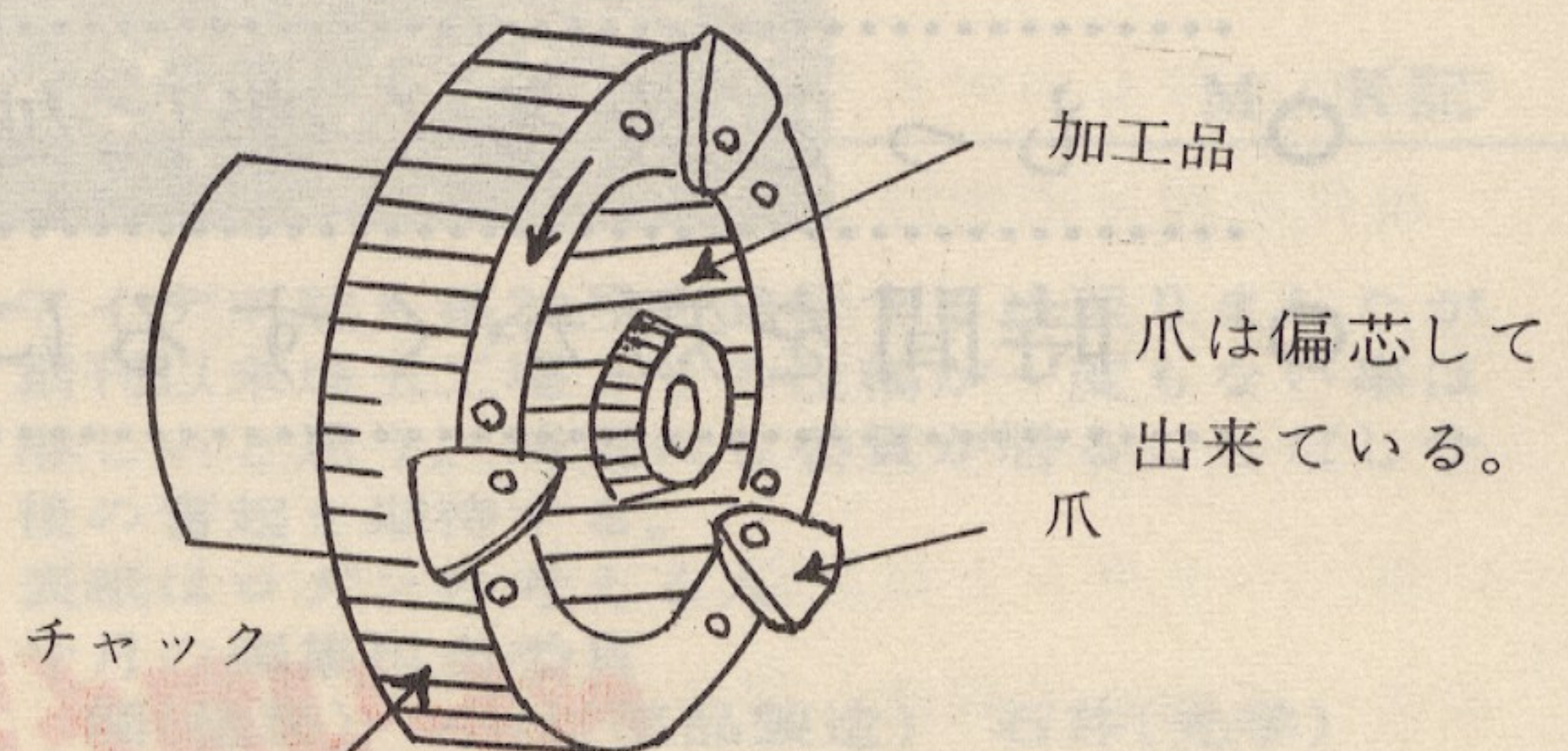
43年7月期 一般提案採用案件及提案者

<p>  組立製造部 用品組立課 係長 6級 Auto用絞りゴミ除去機 提案経履 初 </p>	<p>   (パート)  (パート) 部品製造部 6課 6級 ヘリコイドスケールノック内筒カラクリの改善 提案経履 6級 ヘリコイドネジ切機械テーパの改良 </p>
<p>  光学部 試作課 係長 6級 レンズ原器 (ニュートン盤) 研磨加工の改善 提案経履 7級 アイデア </p>	<p>  部品製造部 試工課 7級 横万力用口金の改良 提案経履 初 </p>
<p>  部品製造部 試工課 7級 横万力用口金の改良 提案経履 初 </p>	<p> 記念品 部品製造部 試工課  埼玉製作所  "  </p>
<p>  埼玉製作所 金型課 係長 7級 サブ型取付孔明簡易治具 提案経履 7級 倍図棚の改良 6級 金型ポンチの仕上治具の改良 6級 金型エア装置の改良 </p>	

遠心チャック

切削時間のあまり長くない加工では、品物の取付・取外し時間が大きく能率に影響するものである。ここに一例を上げますのは内側の面をサツとなめると云う簡単な作業ですが、遠心力を使って簡単に取付け取外しが出来るようにして従来の2倍の能率を上げることが出来た例です。すなわち円い箱型のチャックの周囲に3つの爪が取付けてあるが停止の状態では重心の関係で開いた状態になり、簡単に品物の挿入取出しが出来ます。回転すると遠心力が働いて爪が

内側の方向に回り品物を押えることになります。爪の裏側は勾配をつけてあるので、ちょうど楔状に締付ける力が働くわけである。このように遠心力を利用することも治具製作上考える必要があるのではないのでしょうか。(S・H)

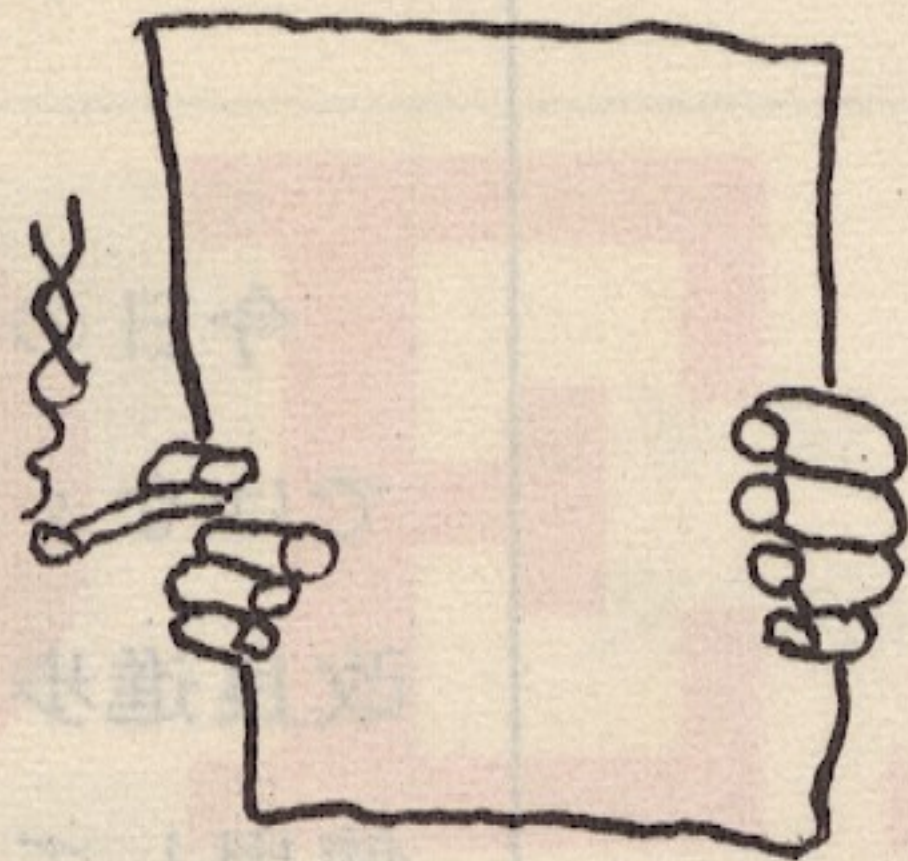


上手とベテラン

物事には必ず上手と下手とがある、と云われています。私は釣りを趣味としておりますが釣りにも同じ事が云えます。それでは上手と下手の基準の違いはどこにあるのかと質問されたら私は答えに困るでしょう。確かに上手と云われる人は他の人より沢山釣る事は事実です。では他人と比較して何匹以上釣れば上手と云えるかを云う事も一つの目安であってはっきりしたものはありません。上手と云う言葉と同時にベテランと云う言葉もよく使われます。辞書を引くとベテランとは老練とか老巧とか書いてあります。釣りのベテランも同じ意味のことだと思います。まあこれで良いでしょうが老練とか老巧とか云う時、ただ上手に釣るとか、沢山釣るとか云うだけでは何かまだ大事な事が欠けている様なシックリしない感じがします。ベテランと云われる人が釣場に入ると普段より一回り大きく見える、そしてその姿は品性があり非常に美しい、老練とか老巧とか云う言葉の中にはそのものに対する工夫や研究、深い経験それに態度、心構えという物が考えられるでしょう。辛さばきとか、魚の取り込み、そういう一連の動作にあかぬけがし、その鮮やかな動作の中に長い経験からにじみ出る巧さが感じとれる処に本当の老練とか老巧という本来の意味があると思われまふ。

村正の刃は切れる事では無比であったが、名刀とは云われていない。刀であれば切れ味もさることながら、その上に姿や形も美しく、そして気品がなければならぬ。そういうものが兼ね備わったものが名刀と云えるのでしょう。

現代の我々の周囲は甚だ無味乾燥であります。毎日毎日が数学の連続そして残るものは記録であります。話しを戻しますが上手とは記録の良い事。ベテランとは記録プラスにじみ出る品性があるって始めて到達し得る域である、と結んで



おきましょう。

我々が物事に当る時は何事に於いても後者を目標に於いて一日一日の生活をわずかづつでも充実したものにする様、努力していきたいものであります。

G・M記

ある指針

「旨い物を食べ」、というのはよく働けということである。

よく働けば腹がへる、そうすればどんなものでもうまく食える。だから元気のうちはせいぜい働いてうまい物を食うようにする。

こうしてはじめて勤勞のとうとさを本当に知ることが出来る。

「きれいな物を着ろ」、というのは新しいものとか、ハデなものを着ろというのではない。清潔なものを着ろ、よく洗濯したものを着ろということでは不潔こそ万病の原因なんだという。

「毎日鏡を見ろ」、というのは社会を知れということであってただ自分の顔や姿だけしか写せない鏡ではない。世の中という大きな他人がどんな生活をし、どんな気持で生きているかを写す鏡のことだ。それを見るには新聞や本を読みテレビやラジオ、他人の話もよくきく、そして自分の意見も発表することだと思ふ。

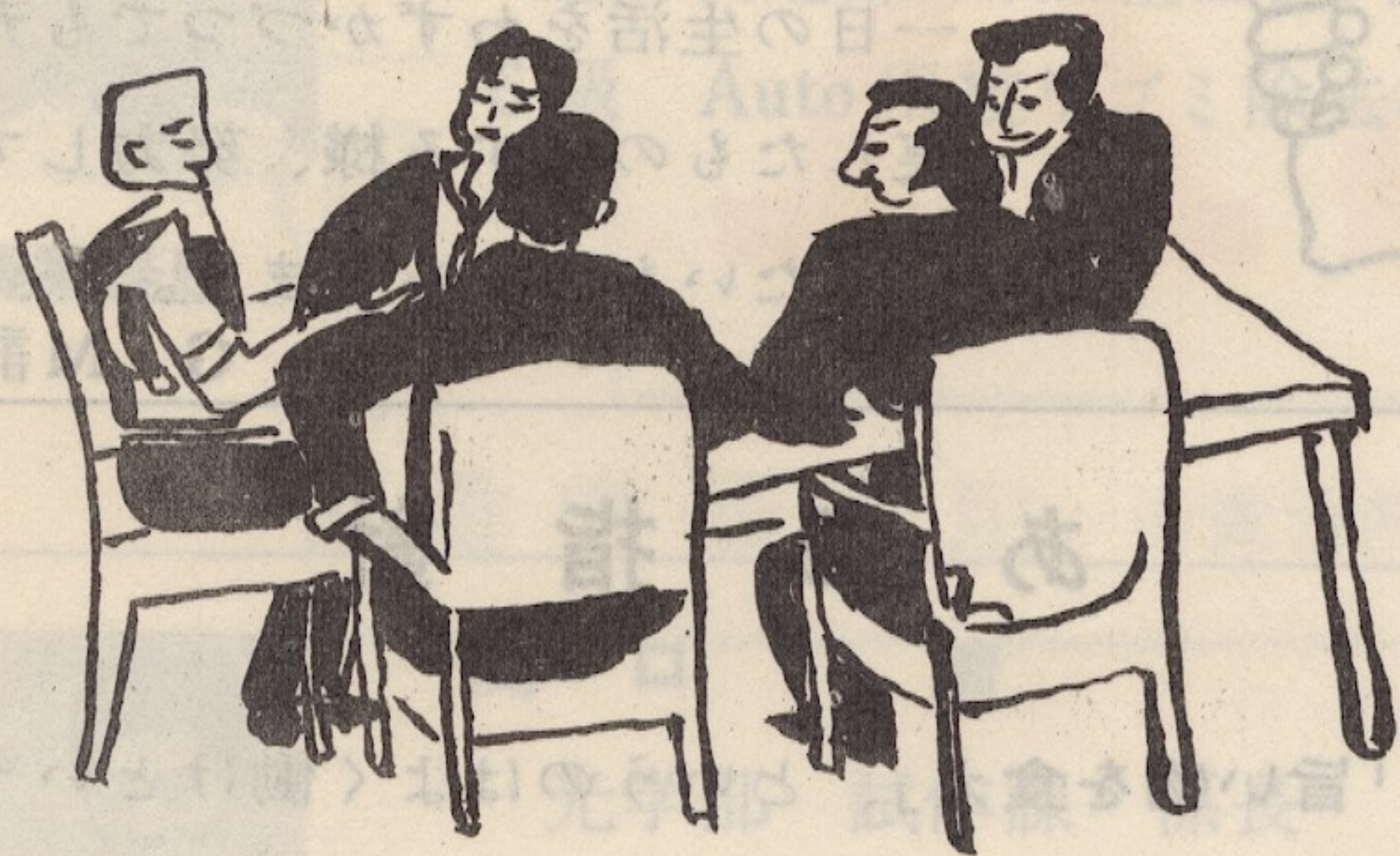
「人のふり見てわがふりなおせ」、というのにあてはまる。なんだ、古いことばで現代には通用しないという人がいるかもしれない。

だが、こういう古いものからはじめて新しい何物かが創造されていくのではなからうか。

毎日旨いものを食ひ、きれいな物を着てよく磨かれた鏡を見て生活する事に依って人生もより豊かになると思ふ。

J・I記

人材の条件



人材の意味は、字引によると才知のある人、役に立つ人物、才能のある人物とあるが、いくら才知、才能があっても役に立たない人では人材といえない。

その人材は管理的職業に役に立つ人、技術的職業に役に立つ人、と大別されるが、技術専門職業に役立つ程度は比較的安易に判定される。

だが、管理的職業に役立つ程度の判定はなかなかむずかしい。

技術専門的人材は、必要な知識、技能、経験等自身の努力の積み重ねで立派な人材になれるが、管理的職業の人材になるには、それは勿論のこと、常に努力し、勉強し、協力してくれる部下が必要である。よい部下がいなければ、教えたり、叱ったり、指導したりして部下を育てることも大切な役目である。また上司の人材ぶりを認めて自分に必要な要素を吸い取って自身の力にすることも、人材への早道の一つである。

人材とは自分で認めるものでなく、他の人から認められることで、「能ある鷹は爪を隠す」の諺のように、人材価値は簡単にはわからない。

が、その人を知れば知るほど奥の深さ、巾の広さ、円満さが次第にわかる人が人材であり、その人材価値には限度がない。もうこれでよいと満足せず、いつまでも勉強し、どんな事でも知ろう、やってやろうと努力する人こそ真の人材といえよう。

リクルート'68 K・S記

小事に細心なれ

今日の文化は昨日の文化が突然変化したものではなくて、人間のたゆまぬ考案工夫によって、改良進歩された結果である。日ごろなにげなく使用している品物についても、これをくわしく観察してみればそれが私達の前に現れるまでには、実に多くの考案工夫にもとづく改良進歩によって、今日に至っていることを理解できるのである。

現代は「アイデアの時代」とも呼ばれている。アイデアとは「着想」ということである。考案工夫はアイデアから生ずる場合が多い。すぐれたアイデアは細心の注意から生まれるのである。私達が毎日行う自分の作業はもちろん、日常取扱う原材料、工具、機械などに至るまで細心の注意をはらい、向上心にもえて作業に従事したならば、自然にこれらのものに対するすぐれたアイデアが浮んできて、改善すべきところが出て来るであろう。自分が毎日従事する作業について考案工夫すれば、すぐに実行することが出来るから、自分の作業に興味をわいて毎日の作業が楽しくなり、常に清新な気持ちで仕事に従事することができる。又そればかりでなく作業に必要な知識や、技術を勉強するようになるから、学問と技術、技能を兼備した立派な従業員となり、真の自己の職務に生きがいのある人生を送ることができるようになるのである。

今日偉大な発明、発見をした人物の経歴を調べてみると、自分の仕事に従事するとき、常に細心の注意をはらい、すぐれたアイデアによって考案工夫を行い、改善された場合が多いのであって、決して空理空論から生まれたものではないのである。

M・K記

●コーナー

アイデア誌も第20号を発行するに至りましたが創刊以来埼玉工場よりの投稿が一度もない事は淋しいと思う。埼玉にも委員が居ることだし今後の奮起を期待する。

表紙はロダンの考える人

今月の編集担当委員

（総務）

（部品製造）

（光学）